



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社
 コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 長谷川 吉弘
 (氏名) 金城 照夫
 TEL 06-6201-2461
 配当支払開始予定日 平成29年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	35,002	△3.3	1,791	△10.7	1,791	6.9	1,284	14.4
29年3月期第2四半期	36,191	△12.5	2,007	64.2	1,674	△23.7	1,122	△8.1

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 1,529百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △291百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	49.50	—
29年3月期第2四半期	43.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	69,197	35,048	47.5
29年3月期	67,352	33,813	47.0

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 32,898百万円 29年3月期 31,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
30年3月期	—	11.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当9円00銭 記念配当2円00銭 配当合計11円00銭
 30年3月期末(予想)配当金の内訳 普通配当9円00銭 記念配当2円00銭 配当合計11円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,500	1.6	3,850	△3.1	3,850	△2.1	2,350	△2.9	90.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	26,080,396 株	29年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	132,136 株	29年3月期	132,049 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	25,948,316 株	29年3月期2Q	25,948,492 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気は回復が続き、欧州の景気は緩やかに回復しました。中国の景気は、各種政策効果もあり、景気は持ち直しの動きがみられました。

一方、日本経済は、雇用、企業収益が改善し、設備投資も持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調が続きました。

このような中、当社グループは前期よりスタートしました、3ヵ年の中期経営計画『NEW HARIMA 2018』の2年目に入り、更なる事業の成長に取り組んでいます。

当社グループの56.2%を占める海外事業は、欧米を主力市場とするローター社の売上高は、原材料価格の下落による販売価格の修正、競合他社との販売競争による販売数量減があり、前年同四半期に比べ減少しました。しかしながら、コスト削減等により、利益は増加しました。

国内事業は、売上高は前年同四半期並みとなったものの、利益面では前年同四半期に比べ減少しました。

その結果、当社の当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は350億2百万円となり、前年同四半期に比べ11億8千8百万円(△3.3%)の減収となりました。

利益面では、営業利益は17億9千1百万円となり、前年同四半期に比べ2億1千5百万円(△10.7%)の減益となりました。経常利益は17億9千1百万円となり、前年同四半期に比べ1億1千6百万円(6.9%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億8千4百万円となり、前年同四半期に比べ1億6千1百万円(14.4%)の増益となりました。

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

① 樹脂化成品

印刷インキ業界、塗料業界の生産量は前年同四半期並みとなりました。

当部門におきましては、塗料用樹脂は、建築・外装用塗料向けが堅調に推移し、前年同四半期に比べ売上高は増加しましたが、雑誌やチラシなどの商業印刷の減少および新聞発行部数の減少により印刷インキ用樹脂は、前年同四半期に比べ売上高が減少しました。

その結果、当部門の売上高は、93億7百万円となり、前年同四半期に比べ9千9百万円(1.1%)の増収となりました。当部門の営業利益は4億9千6百万円と前年同四半期に比べ3千8百万円(8.5%)の増益となりました。

② 製紙用薬品

国内の製紙業界は、板紙の生産量が前年同四半期に比べ増加しましたが、印刷情報用紙は減少しました。当部門の海外事業は、米国、中国を主な市場にしていますが、米国では、印刷情報用紙の需要が減少する一方、板紙の需要が増加し、紙・板紙生産量は、前年同四半期に比べ微増となりました。また、中国の紙・板紙生産量は、増加しました。

当部門におきましては、国内の売上高は前年同四半期並となりましたが、米国および中国の売上高は前年同四半期に比べ減少しました。

その結果、当部門の売上高は、79億4千5百万円となり、前年同四半期に比べ2億4千1百万円(△2.9%)の減収となりました。また、当部門の営業利益は、中国子会社での主原材料値上がりによる利益率低下により、6億円と前年同四半期に比べ2億5千万円(△29.4%)の減益となりました。

③ 電子材料

当部門が主に関連する自動車業界の生産台数は、北米は前年同四半期に比べ減少したものの、国内、欧州、中国は増加となりました。

当部門におきましては、ソルダペーストの売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、自動車熱交換器用のろう付け材料などの販売が増加し、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当部門の売上高は、27億7千6百万円となり、前年同四半期に比べ1億2千8百万円(4.9%)の増収となりました。当部門の営業利益は2億3百万円と前年同四半期に比べ6千9百万円(52.2%)の増益となりました。

④ローター

当部門の主要製品である粘接着剤用樹脂は、前年同四半期に比べ販売数量は前年並みとなりましたが、主原料であるロジン価格の世界的な下落に伴い製品販売価格が低下したことにより、売上高は、前年同四半期に比べ減少しました。

一方、印刷インキ用樹脂は、情報のデジタル化を背景として世界的に需要が低迷して、製品の販売価格競争も激化しており、販売数量は前年同四半期に比べ減少したことにより、売上高は減少しました。

また、利益面では、引き続き、合理化、コスト削減効果が寄与し、前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当部門の売上高は、141億6千万円で、前年同四半期に比べ10億8千万円(△7.1%)の減収となりました。当部門の営業利益は7億4千万円と前年同四半期に比べ1億5千1百万円(25.7%)の増益となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前期末に比べ18億4千4百万円の増加となりました。自己資本比率は47.5%となりました。増減の主なもの、流動資産では現金及び預金が4億4千9百万円減少し、受取手形及び売掛金が12億6千7百万円増加し、原材料及び貯蔵品が3億8千8百万円増加しました。負債では短期借入金が68億6千1百万円増加し、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)は返済及び為替の影響により56億2千7百万円減少しました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、緩やかながらも回復すると見込まれますが、米国の金融政策正常化の影響、中国を始めアジア新興国等の経済の動向、政策に関する影響など、先行きが不透明な状況が続いています。日本経済においては、所得や雇用の改善により緩やかな回復傾向にあるものの、当社グループにおきましては、為替変動などによる不透明な事業環境が続くことが見込まれます。

当社グループは2016年度を初年度とする中期経営計画『NEW HARIMA 2018』の目標である2018年度の売上高1,000億円、営業利益60億円、ROE(自己資本当期純利益率)8.0%の達成に向けた重点施策を引き続き推進してまいります。

2017年度は、グローバルに展開する拠点網を活かした新製品の展開加速、事業規模の拡大と新技術の獲得、品質面および価格面での競争力向上などに取り組みます。

なお、当期(2017年4月1日から2018年3月31日)の通期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2017年5月1日の決算発表時の公表数字を下記の通り修正いたしました。

①業績予想の修正

2018年3月期通期連結業績予想数値の修正(2017年4月1日～2018年3月31日)

(単位:百万円,%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	77,500	4,000	4,200	2,600	100.20円
今回修正予想(B)	72,500	3,850	3,850	2,350	90.56円
増減額(B-A)	△5,000	△150	△350	△250	—
増減率(%)	△6.5	△3.8	△8.3	△9.6	—
(ご参考) 前期実績(2017年3月期)	71,384	3,975	3,931	2,421	93.31円

②修正の理由

売上高につきましては、国内事業は前期並みが見込まれるものの、欧米を主力市場とするローター社の売上高は原材料価格の下落による販売価格の修正や競合他社との販売競争により売上高減が見込まれます。その結果、全体としての売上高につきましては、前回の予想を下回る見込みとなりました。

また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、売上高の減少に伴い、前回の予想を下回る見込みとなりました。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,113,069	3,663,890
受取手形及び売掛金	17,931,234	19,198,349
商品及び製品	5,379,840	5,581,030
原材料及び貯蔵品	5,589,978	5,978,127
その他	2,213,208	2,160,944
貸倒引当金	△108,835	△103,359
流動資産合計	35,118,496	36,478,982
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,390,910	9,309,699
その他(純額)	13,420,430	13,243,177
有形固定資産合計	22,811,341	22,552,877
無形固定資産		
その他	931,497	948,639
無形固定資産合計	931,497	948,639
投資その他の資産		
投資有価証券	7,206,578	7,974,416
その他	1,287,889	1,245,773
貸倒引当金	△3,219	△3,219
投資その他の資産合計	8,491,249	9,216,970
固定資産合計	32,234,088	32,718,487
資産合計	67,352,585	69,197,469

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,348,049	8,039,236
短期借入金	4,759,030	11,620,870
1年内返済予定の長期借入金	632,980	2,689,083
未払法人税等	463,801	480,992
役員賞与引当金	76,910	48,170
その他	3,274,673	3,087,418
流動負債合計	17,555,443	25,965,770
固定負債		
長期借入金	10,484,228	2,800,251
長期預り保証金	741,081	741,081
役員退職慰労引当金	404,576	385,557
退職給付に係る負債	1,028,221	1,013,353
資産除去債務	48,294	48,465
その他	3,277,688	3,194,296
固定負債合計	15,984,090	8,183,005
負債合計	33,539,534	34,148,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,743,959	9,743,959
利益剰余金	11,366,324	12,417,247
自己株式	△62,436	△62,515
株主資本合計	31,060,799	32,111,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,735,420	2,226,381
為替換算調整勘定	△971,716	△1,271,945
退職給付に係る調整累計額	△175,949	△167,327
その他の包括利益累計額合計	587,754	787,108
非支配株主持分	2,164,497	2,149,941
純資産合計	33,813,050	35,048,693
負債純資産合計	67,352,585	69,197,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)
売上高	36,191,314	35,002,772
売上原価	27,585,453	26,700,540
売上総利益	8,605,861	8,302,232
販売費及び一般管理費	6,598,440	6,510,479
営業利益	2,007,420	1,791,752
営業外収益		
受取利息	26,555	16,039
受取配当金	39,798	171,482
不動産賃貸料	58,031	57,516
その他	98,865	151,275
営業外収益合計	223,251	396,313
営業外費用		
支払利息	168,176	141,378
為替差損	336,179	177,501
その他	51,480	78,081
営業外費用合計	555,836	396,961
経常利益	1,674,836	1,791,104
特別損失		
減損損失	12,270	—
特別損失合計	12,270	—
税金等調整前四半期純利益	1,662,565	1,791,104
法人税、住民税及び事業税	412,872	415,298
法人税等調整額	△25,080	17,002
法人税等合計	387,791	432,300
四半期純利益	1,274,773	1,358,803
非支配株主に帰属する四半期純利益	152,021	74,345
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,122,752	1,284,457

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	1,274,773	1,358,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220,414	490,959
為替換算調整勘定	△2,090,406	△329,421
退職給付に係る調整額	303,717	8,843
持分法適用会社に対する持分相当額	0	2
その他の包括利益合計	△1,566,272	170,383
四半期包括利益	△291,498	1,529,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△171,642	1,483,812
非支配株主に係る四半期包括利益	△119,856	45,374

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,662,565	1,791,104
減価償却費	1,012,532	938,839
減損損失	12,270	—
のれん償却額	43,607	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,970	△28,740
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23,949	△1,488
受取利息及び受取配当金	△66,354	△187,521
支払利息	168,176	141,378
為替差損益 (△は益)	348,895	185,581
持分法による投資損益 (△は益)	△18,995	△25,951
有形固定資産売却損益 (△は益)	1,865	△115
売上債権の増減額 (△は増加)	497,990	△1,495,218
たな卸資産の増減額 (△は増加)	783,552	△811,854
仕入債務の増減額 (△は減少)	622,222	△153,083
その他	△726,441	51,179
小計	4,354,866	404,111
利息及び配当金の受取額	77,781	197,070
利息の支払額	△161,455	△185,693
法人税等の支払額	△290,371	△389,612
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,980,821	25,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,141,349	△731,418
有形固定資産の売却による収入	3,636	95,332
投資有価証券の取得による支出	△331,468	△144,386
投資有価証券の売却による収入	200,910	52,927
貸付金の回収による収入	709	537
その他	△314,381	△72,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,581,942	△799,297
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	436,771	6,602,862
長期借入れによる収入	—	1,433,824
長期借入金の返済による支出	△1,211,810	△7,278,791
配当金の支払額	△181,639	△233,535
非支配株主への配当金の支払額	△58,456	△57,469
預り保証金の返還による支出	△8,012	△1,195
その他	△41,310	△42,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,064,456	423,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	△719,740	△86,088
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	614,681	△435,818
現金及び現金同等物の期首残高	5,880,725	4,002,354
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,495,407	3,566,535

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,207,930	8,186,934	2,647,448	15,240,414	35,282,728	869,019	36,151,748	39,566	36,191,314
(2) セグメント 間の内部売上 高又は振替高	127,852	127,934	—	84,448	340,235	71,002	411,237	△411,237	—
計	9,335,782	8,314,869	2,647,448	15,324,863	35,622,963	940,022	36,562,985	△371,671	36,191,314
セグメント利益	457,497	851,045	133,569	589,154	2,031,266	9,031	2,040,298	△32,877	2,007,420

II 当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,307,726	7,945,518	2,776,008	14,160,414	34,189,669	828,975	35,018,644	△15,872	35,002,772
(2) セグメント 間の内部売上 高又は振替高	108,327	80,009	—	76,697	265,034	70,548	335,583	△335,583	—
計	9,416,053	8,025,528	2,776,008	14,237,112	34,454,704	899,524	35,354,228	△351,455	35,002,772
セグメント利益	496,356	600,482	203,287	740,447	2,040,573	9,692	2,050,266	△258,513	1,791,752

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2018年3月期 第2四半期決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2017/3期		2018/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	11.1億円	20.2億円	7.9億円	20.0億円

2. 減価償却実施額

	2017/3期		2018/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	10.1億円	20.3億円	9.3億円	20.0億円

3. セグメント別売上高

	2017/3期		2018/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	92.0億円	182.8億円	93.0億円	187.0億円
製紙用薬品	81.8億円	162.0億円	79.4億円	172.0億円
電子材料	26.4億円	53.2億円	27.7億円	57.0億円
ローター	152.4億円	298.5億円	141.6億円	294.0億円
その他	8.6億円	16.8億円	8.2億円	15.0億円
調整額	0.3億円	0.2億円	△0.1億円	-
合計	361.9億円	713.8億円	350.0億円	725.0億円

4. 海外売上高

	2017/3期		2018/3期	
	第2四半期(実績)		第2四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	76.5億円	21.1%	76.9億円	22.0%
欧州	70.2億円	19.5%	60.2億円	17.2%
アジア、オセアニア	61.6億円	17.0%	59.4億円	17.0%
合計	208.4億円	57.6%	196.7億円	56.2%